

山口県医師会 平成 28 年度 事業報告

I 実施事業

—地域医療・保健・福祉を推進する事業—

1 生涯教育

加藤常任理事 白澤理事
清水理事 山下理事

生涯教育事業では中核事業である生涯研修セミナーの講演内容を生涯教育委員会で企画・検討した。生涯研修セミナーでは臨床のみならず、「医療紛争と医療安全」、「医学教育の現状と課題」などの幅広いテーマを取り上げ実施した。また、勤務医部会の企画である基調講演において専門医共通講習「医療安全」の単位を取得できるようにした。

第 99 回山口県医学会総会は下関市医師会の引き受けにより午前の特別講演 2 題を医師向けに実施し、午後の市民公開講座では「さかなクン」をお招きし、多数の市民の皆様にご聴講いただいた。

体験学習は山口大学医学部・山口大学医師会の主催により開催した。講義のほかに、県内では大学病院にのみ設置されている治療装置の見学、シミュレーション器具を使用した手技の実習等が企画された。

医学生や研修医を指導する臨床研修指導医を養成するために実施している「指導医のための教育ワークショップ」を 1 泊 2 日の合宿形式で今年度も開催し、16 名の受講があった。

日医生涯教育協力講座セミナーは日本医師会及び都道府県医師会の共催により平成 16 年度より企画し、28 年度は「認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～」のテーマで実施した。

日医は、28 年度から今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するために「日医かかりつけ医機能研修制度」をスタートさせた。基本研修、応用研修、実地研修の 3 つの要件があり、必須要件である応用研修会を 2 回開催した。

HIV 医療講習会は、県内の医師・看護師等を対象に HIV 医療に関する診断方法、治療方法等、HIV 医療に関する知識の向上を目的に 3 年ぶりに実施した。

1 山口県医学会総会

第 99 回（海峡メッセ下関）

引受：下関市医師会 6 月 14 日

特別講演 2 題、市民公開講座 1 題

2 生涯研修セミナー

第 140 回 5 月 15 日

特別講演 4 題

第 141 回 9 月 11 日

ミニレクチャー 2 題、特別講演 3 題

第 142 回 11 月 6 日

特別講演 4 題

第 143 回 2 月 26 日

特別講演 2 題、基調講演 1 題及びシンポジウム 1 題

※ 基調講演、シンポジウムは勤務医部会企画

3 体験学習（山口大学医師会主催）

第 63 回「症例からひもとく最新の消化器癌、乳癌治療～安心して紹介できる大学病院をめざして～」

1 月 29 日

（引受：消化器・腫瘍外科学講座）

第 64 回「放射線治療の実際」

2 月 5 日（引受：放射線腫瘍学講座）

4 指導医のための教育ワークショップ

第 13 回 10 月 22～23 日

5 日医生涯教育協力講座セミナー

「認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～」 6 月 4 日

- 6 日医かかりつけ医機能研修制度
 応用研修会 5月22日 12月11日
- 7 HIV 医療講習会 12月10日
 講演2題、特別講演1題
- 8 山口県医学会誌
 第51号の編集及び発行
- 9 生涯教育諸会議
 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会
 3月17日
 郡市医師会生涯教育担当理事協議会
 3月30日
 生涯教育委員会 5月28日 7月23日
 10月29日 2月25日

2 医療・介護保険

萬常任理事 清水理事
 船津理事 前川理事
 山下理事

平成 28 年度の診療報酬(本体)はプラス 0.49% の改定となり、医科はプラス 0.56% となったが、社会保障費の自然増(概算要求で 6,700 億円)を約 5,000 億円に抑える政府方針から、薬価・材料価格がマイナス 1.33% となり、全体としてはマイナス 0.84% の 8 年ぶりのマイナス改定となった。

中身としては「医療介護総合確保推進法」等の下で進められている医療機能の分化・強化や医療・介護の一体的な基盤整備、30 年度(2018 年度)に予定されている診療報酬と介護報酬の同時改定など、2025 年を見据えた中長期的な政策が反映されたものとなっており、前回改定で導入された「地域包括診療料」等においては、今回、算定要件の緩和が図られたところではあるが、診療所においては引き続き厳しい要件とされている。

改善が評価できる項目としては、従来より取扱いが不明確であった特定疾患療養管理料の算定における、「退院の日から 1 か月間算定が認められない」とする要件については、「他院退院患者については除外する」ことが明文化された。また、在宅自己注射指導管理料については、回数が「27

回以下と 28 回以上に簡素化」されたこと及び「2 以上の医療機関で異なる疾患の自己注射を指導している場合には、それぞれで算定できる」ようになったこと、導入前の指導が「週 2 回」から「通算で 2 回」となり、現実の通院状況に沿ったものになったこと等がある。

前述のような、会員から持ち上がった診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであるが、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっており、今後も充実に努めていくところである。

個別指導については 28 年度も各地区で 10 回実施された。保険指導医は全員県医師会の保険委員を兼任することとし、立会いについても医師会の保険担当役員(郡市及び県)が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。なお、僻地医療に対して厳しい指導が窺えたことから、県医師会から中国四国厚生局へ改善を申し入れた。

介護保険については、介護保険対策委員会、郡市介護保険担当理事協議会を開催し、介護保険事業所の整備状況などを県行政、関係機関と協議した。さらに、地域包括ケアの推進なども協議した。また、認知症関連の研修会、地域包括診療加算・地域包括診療料に係る研修会、勤務医のための主治医意見書の書き方講習会等を開催した。

労災・自賠責医療保険については郡市医師会担当理事協議会を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題(第三者行為傷病届等)について協議、情報提供を行った。また、労災保険指定医部会は事業の一元化を図ることが適当であるとの結論に達したため、28 年度末をもって解散することとした。

山口県自動車保険医療連絡協議会においては、各損保会社、各医療機関から提出された交通事故医療に関する未解決事例について、加盟の損保会社と協議を行い対処した。

28 年度は自賠責保険研修会を開催し(2 年に 1 回)、特別講演「外傷性胸郭出口症候群の診断と治療」等により、会員への情報提供及び対応方

法について周知を図った。

1 医療保険の指導

監査（宇部地区） 6月15日

個別指導

8月25日(山口市) 9月15日(岩国市)

9月29日(山口市) 10月13日(周南市)

10月27日(山口市) 11月17日(山口市)

12月1日(下関市) 12月15日(山口市)

1月26日(下松市)

2月9日(山陽小野田市)

指定時集団指導 9月1日 1月19日

新規第一号会員研修会 9月1日

新規保険医療機関個別指導

7月28日(山口市) 8月25日(山口市)

2月23日(山口市)

社会保険医療担当者集団指導 6月30日

7月14日 9月1日

2 日医・郡市医・医療保険関係団体等との連携

中国四国医師会連合総会分科会

6月4日(岡山市) 9月24日(山口市)

郡市医師会保険担当理事協議会 6月9日

医師会推薦社保・国保審査委員合同協議会

6月9日

保険委員会 6月2日 3月9日

社保・国保審査委員連絡委員会

7月7日 2月2日

社保・国保審査委員合同協議会 9月8日

社会保険指導者講習会 10月5～6日

山口県医療保険関係団体連絡協議会

3月14日

3 行政機関との連携

県健康福祉部厚政課との打合せ 5月12日

中国四国厚生局山口事務所、山口県健康

福祉部医務保険課との打合せ 5月12日

中国四国厚生局山口事務所との打合せ

4月22日

4 労災・自賠責関係

郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会

11月24日

労災診療費算定基準説明会（共催）

6月23日(下関市)

6月30日(山口市)

7月14日(下松市)

労災診療費算定実務研修会（共催）

10月20日(山口市)

労災保険指定医部会理事会 4月14日

労災保険指定医部会総会（柳井市）

6月5日

自賠責医療委員会 8月4日 2月23日

山口県自動車保険医療連絡協議会

8月4日 2月23日

自賠責保険研修会 12月15日

5 介護保険

介護保険対策委員会 7月7日

介護保険対策委員会・関係者合同協議会

12月1日

郡市医師会介護保険担当理事協議会

10月6日

山口県介護保険研究大会 11月27日

地域包括診療加算・地域包括診療料に係る

かかりつけ医研修会

8月21日 11月20日

かかりつけ医認知症対応力向上研修会

8月7日 2月5日

認知症サポート医フォローアップ研修会

2月12日

勤務医のための主治医意見書書き方講習会

12月13日

主治医意見書記載のための主治医研修会

12月17日

都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会

3月1日

3 地域医療

弘山常任理事 白澤理事

香田理事 清水理事

前川理事 山下理事

地域医療

(1) 保健医療計画の推進

平成 27 年度から各圏域の策定協議会で検討されてきた「地域医療構想」が、県医療審議会の審

議を経て 28 年 7 月末に策定された。その後は、地域医療構想の実現を推進するために各圏域で「地域医療構想調整会議」が設置、開催された。さらに、検討課題を具体的に議論するため、病床を有する医療機関を中心とした検討部会も設置され、必要に応じて開催された。県医師会としては、引き続き、各圏域の調整会議へオブザーバーとして参加し、協議状況や課題等の把握に努め、地域医療計画委員会や郡市医師会担当理事協議会等において、全県的な課題や進捗状況等について、意見交換した。

地域医療介護総合確保基金（医療分）については、27 年度は 2 回に分けた内示などによって混乱が生じたが、28 年度は 8 月に全体の内示額が示された。事業区分Ⅱ（居宅等における医療の提供に関する事業）及びⅢ（医療従者の確保に関する事業）については、当初予算額に対して不足が生じていたが、基金残高からの充当により、当初県が予算計上しているすべての事業が実施可能となった。県医師会としては、日本医師会及び県からの情報把握、郡市医師会等への情報提供を行うとともに、地域医療を確保していく上での重要な事業が円滑に実施できるよう予算確保に努めた。

地域医療計画委員会及び地域医療構想関係者
合同会議 9 月 1 日
郡市医師会地域医療担当理事協議会 7 月 28 日

地域医療構想調整協議会

「岩国」9 月 8 日 2 月 23 日
「柳井」8 月 31 日
「周南」9 月 1 日 3 月 23 日
「山口・防府」 9 月 8 日 3 月 23 日
「宇部・小野田」 11 月 10 日 2 月 23 日
「下関」8 月 31 日 10 月 31 日 2 月 28 日
「長門」9 月 8 日 3 月 16 日
「萩」 9 月 12 日 3 月 21 日

地域医療介護総合確保基金（医療分）にかかる
都道府県個別ヒアリング 5 月 11 日
中国四国医師会連合分科会『地域医療』「山口」
9 月 24 日

日医地域医療対策委員会
12 月 14 日 2 月 15 日

(2) 救急・災害医療対策

① 初期救急医療について

郡市救急医療担当理事協議会を開催し、地域の救急医療体制の確保に向けた情報提供、意見交換等を行った。また、AED 普及促進協議会と郡市救急医療担当理事合同会議を開催し、AED の普及促進などについて協議し、県内の AED による救命処置の状況やメンテナンス対策等の情報提供を行った。

郡市医師会救急医療担当理事協議会

6 月 2 日

AED 普及促進協議会・郡市医師会救急医療

担当理事合同会議

1 月 19 日

② 小児救急について

「小児救急医療電話相談事業」は、小児科医会の協力により 19 時～23 時までを県医師会、23 時～翌朝 8 時までを民間業者が実施している。相談件数は年々増加しており、電話相談員の更なるスキルアップを図るため、厚労省や日本小児保健協会が開催する研修会へ参加するとともに、実技を交えた研修会を実施した。また、小児救急医療対策協議会を開催し、電話相談事業の円滑な運営や県内の小児救急医療体制の充実にに向けた対応等について、専門的な立場で協議・検討を行った。他に、今後の電話相談事業を検討することを目的に、山口県小児科医会との検討会を開催した。

病院勤務医の負担を軽減し、地域の安心な小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催した。

郡市医師会小児救急医療担当理事協議会

6 月 30 日

小児救急医療電話相談事業研修会 10 月 2 日

小児救急医療電話相談事業に関する検討会

2 月 2 日

山口県小児救急医療対策協議会 3 月 2 日

③ 検死（検視・検案）体制について

例年どおり、警察医会役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、警察・消防・海保・歯科医師を含めた研修会

を 2 回実施した。さらに、県警察が実施する「大規模災害発生時における検視・遺族対応合同訓練」に、県歯科医師会、山口大学医学部等に参加した。また、県医師会表彰の中で地域社会に対する功労者として警察活動協力医を推薦した。

警察医会 役員会

5 月 19 日	8 月 6 日	2 月 4 日
警察医会 総会		8 月 6 日
警察医会 研修会	8 月 6 日	2 月 4 日
都道府県医師会「警察活動に協力する医師の 部会（仮称）」連絡協議会・学術大会		
		3 月 12 日
第 5 回多数の死者を伴う大規模災害発生時に おける警察、医師会、歯科医師会、自衛隊 との検視・遺族対応合同訓練		
		11 月 10 日

④災害医療体制について

「JMAT やまぐち活動マニュアル」に基づき、引き続き、各都市医師会又は病院単位での JMAT チームの事前登録を進めた。平成 28 年 4 月に発生した熊本地震では、山口県知事（全国知事会経由）から本会に対して、熊本県への救護班派遣の要請があり、3 チームが出動した。

例年、事前登録者等を対象に研修会を実施しており、28 年度は、熊本地震での活動経験を踏まえ、本県が被災したとの想定で、JMAT やまぐちの活動をシミュレーションし、グループ討議を通じて知識を深めた。

また、今回の熊本地震での対応でさまざまな課題が指摘される中、初めて「都道府県医師会 JMAT 担当理事連絡協議会」が開催された。

「JMAT やまぐち」災害医療研修会	1 月 21 日
「JMAT やまぐち」災害医療研修会	
事前打合せ会	9 月 7 日 11 月 30 日
都道府県医師会 JMAT 担当理事連絡協議会	9 月 21 日

(3) 地域包括ケアシステムの構築

在宅医療・介護の連携推進は、地域の特性に応じた地域包括ケアシステム構築の中核と捉え、各都市医師会が積極的に関与していくことが重要である。県医師会では、「県医師会在宅医療推進事業」として都市医師会の取組みを支援するための

費用助成することとし、28 年度から 29 年度にかけて実施している。また、ワーキングチームや都市医師会担当理事会議を開催し、地域の取組み状況や国の動向などを報告して意見交換するとともに、市町担当者との合同会議を開催し、先進的な事例を共有して今後の取組みに活かした。

都市医師会地域包括ケア担当理事会議

	6 月 23 日
(市町担当者合同会議)	2 月 9 日
在宅医療関連講師人材養成事業研修会	1 月 29 日
中国四国医師会連合分科会『地域医療』	
「山口」	9 月 24 日

(4) 有床診療所対策

有床診療所部会においては、全国的に閉院・無床化が進む中、健全な運営に向けた診療報酬による評価など全国有床診療所連絡協議会と連携して取り組んだ。また、スプリンクラー等の設置義務化の決定に伴い、医療施設スプリンクラー等整備事業について情報提供及び補助金の有効な活用を呼びかけた。平成 30 年度開催の全国有床診療所連絡協議会総会が山口県引受けにより開催されることが決定し、その準備作業に取り組み始めた。

有床診療所部会役員会

6 月 30 日	10 月 20 日	1 月 26 日
有床診療所部会総会		10 月 20 日
第 29 回全国有床診療所連絡協議会総会		
「静岡」		7 月 30～31 日
全国有床診療所連絡協議会中国四国		
ブロック会総会「岡山」		1 月 22 日

地域福祉

福祉領域においては、行政の会議等へ出席するとともに、障害者福祉、児童・母子福祉などの地域保健部門と連携をとり、会員への情報提供に努めた。

4 地域保健

藤本常任理事	今村常任理事
香田理事	船津理事
前川理事	山下理事

地域保健は、妊産婦・乳幼児保健、学校保健、

成人・高齢者保健及び産業保健の 4 部門からなり、各事業は多岐にわたっている。住民の「生涯を通じた健康の保持・増進」の目標のもと、一連の流れとして捉え、関係機関と緊密に連携を取りながら事業を進めた。

妊産婦・乳幼児保健

広域予防接種は、各郡市医師会や各市町関係者と調整会議を開催し、円滑に遂行されている。今年度も、予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に研修会を継続して開催した。

平成 28 年 10 月から乳幼児に対する B 型肝炎が定期予防接種に加わった。地域医師会や市町行政と連携し、円滑な実施に努めた。また、定期接種化されていないワクチン（おたふくかぜ）の定期接種化や、B 型肝炎定期接種体制の対象外である年齢の小児に対する助成を県などに対して要望した。

「子ども予防接種週間」は、保護者を始めとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的に、日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で実施され、本会としても協力医療機関の調査や市町への広報について協力を行った。

母子保健分野では、乳幼児健康診査や妊婦健康診査の料金案等について関係機関と意見交換の上、県医師会案を行政に提示し、協議を行うとともに円滑な実施をお願いした。

また、虐待防止活動として山口県産婦人科医会と共催で研修会を開催した。

郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会・関係者合同会議	9 月 15 日
乳幼児保健委員会	6 月 9 日
予防接種等に関する検討会	7 月 28 日
予防接種医研修会	12 月 4 日
日医母子保健講習会	2 月 19 日
児童虐待の発生予防等に関する研修会	10 月 30 日

学校保健

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みを検討し、学校医が活動を記録・活用しやすいように「学校医活動記録手帳」を改

善するとともに、新たに「新任学校医の手引き」を作成した。また、学校医研修会を企画し、メディアと子どもの関係に関する講演及び 28 年度より学校健康診断に追加された「四肢の状態」に関するアンケート調査「運動器検診に関するアンケート調査」について結果を報告した。

学校心臓検診検討委員会では、県内統一の学校心臓検診システムを運用するとともに、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会、精度向上を目的とした研修会を実施した。

その他、例年通り各郡市医師会主催の学校医等研修会及び小児生活習慣病対策に対し助成を行った。

学校心臓検診検討委員会	6 月 23 日
9 月 29 日	12 月 1 日
1 月 26 日	
学校医部会総会・学校医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会	12 月 4 日
学校医部会役員会	7 月 14 日
郡市医師会学校保健担当理事協議会・学校医部会合同会議	10 月 6 日
中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会「鳥取」	8 月 21 日
中国地区学校保健・学校医大会「鳥取」	8 月 21 日
第 47 回全国学校保健・学校医大会「北海道」	10 月 29 日
同 都道府県医師会連絡会議「北海道」	10 月 29 日
日医学校保健講習会	3 月 19 日
若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会「岡山」	1 月 28 日
第 49 回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会「岡山」	1 月 29 日

成人・高齢者保健

糖尿病対策として、平成 27 年に引き続きコメディカル・歯科医等を対象に山口県糖尿病療養指導士講習会を年 4 回開催し、修了認定試験合格者を「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定した。一方、これまでの資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。また、山口市で開催された「やまぐち

元気フェア」では、糖尿病普及啓発のためのブースを出展し、多数の来場があった。

特定健診・特定保健指導は依然として受診率・終了率が低い。実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関（支払基金・国保連合会）の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

健康教育委員会では、今年度のテーマを「腰部脊柱管狭窄症」として、健康教育テキストの内容を検討し、発行した。

がん対策では、胃内視鏡検診に従事する医師の資質向上を図る研修会、がん診療に携わるすべての医師の緩和ケアに関する基礎的な知識習得を目的として開催する緩和ケア医師研修会を行った。また、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間にごがん検診を実施する医療機関へ助成する事業を実施した。

感染症対策では、ジカウイルス感染症や麻しん等に関する日本医師会及び県からの通知など、郡市医師会を通じて会員への情報提供に努めた。また、国・県が行う新型インフルエンザ等対策訓練と合わせて、郡市医師会担当者及び郡市医師会事務局に対する情報伝達の確認を行った。

健康スポーツ医学実地研修会は、山口市でランニングにおける傷害や注意点に関する実地研修会を実施し、多数の参加があった。

平成 27 年 1 月に「難病患者に対する医療費等に関する法律（難病法）」が施行され、指定医制度が開始されたことから、27 年度に引き続き県からの委託を受け、「山口県難病指定医及び小児慢性特定疾病指定医研修会」を開催した。

禁煙推進委員会では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に、健康増進の観点に加え、幅広い公共の場等における受動喫煙防止対策の強化が進められようとしている中で、平成 29 年度、県民に喫煙の害と禁煙を呼びかける「山口禁煙フォーラム」を開催することとし、企画内容の検討を行った。

郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会	5 月 12 日
山口県糖尿病対策推進委員会	7 月 14 日
	9 月 29 日 12 月 10 日
山口県糖尿病療養指導士講習会	6 月 12 日

6 月 26 日	7 月 24 日	8 月 7 日
「やまぐち糖尿病療養指導士」レベルアップ講習会		
		11 月 20 日
やまぐち元気フェア		
		11 月 5 日
郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事及び関係者合同会議		
		9 月 29 日
健康教育委員会		
6 月 30 日	9 月 1 日	12 月 8 日
山口県胃内視鏡検診研修会		1 月 15 日
山口県緩和ケア医師研修会連絡協議会		
		12 月 1 日
山口県緩和ケア医師研修会		2 月 11～12 日
健康スポーツ医学委員会		
	4 月 14 日	7 月 28 日
健康スポーツ医学実地研修会		
	11 月 23 日	3 月 12 日
山口県難病指定医及び小児慢性特定疾病指定医研修会		
	7 月 3 日	2 月 19 日
禁煙推進委員会		7 月 28 日
	11 月 24 日	2 月 23 日

産業保健

平成 27 年 12 月から導入された、心理的な負担を把握するための検査（ストレスチェック）の実施が義務付けられ、1 年が経過した。

県医師会主催・郡市医師会協力の産業医研修会では、郡市医師会の要望を踏まえ、ストレスチェック制度を重点的なテーマとし、計 18 回開催した。また、県医師会主催の産業医研修会を 3 回開催し、労働衛生行政の動向やストレスチェック制度、職場における肩こり対策、治療と職業生活の両立支援の考え方などのテーマを主に取り上げた。

また、県内の産業保健活動を推進するため、山口産業保健総合支援センター、郡市医師会、労働局など各関係機関との連携を行った。

産業医研修カリキュラム策定等委員会	4 月 7 日
郡市医師会産業保健担当理事協議会	10 月 27 日
山口県産業保健連絡協議会・産業医部会合同会議	11 月 17 日
山口産業保健総合支援センター地域窓口全体会議	9 月 29 日

山口産業保健総合支援センター運営協議会		
11月26日	3月2日	
第38回産業保健活動推進全国会議		
		10月13日
山口県医師会産業医研修会		
6月16日	7月14日	7月21日
8月2日	8月4日	9月10日
9月28日	10月6日	10月27日
11月10日	11月15日	11月17日
11月24日	12月1日	12月3日
1月12日	1月18日	1月26日
		1月29日

5 広報・情報

今村常任理事	白澤理事
中村理事	山下理事

広報事業

広報事業は、組織の主張を展開し会員間の討論の場ともなる重要な分野である。平成 28 年度も対内広報と対外広報の発展に努めた。

① 広報活動事業

医師会報の作成については、毎月開催している広報委員会において、誌面の刷新並びに記事やコーナーの充実をより一層図った。主要コーナーとしては、研修医や医員、新規開業の先生方に以前の自身の環境と新しい環境での感想や医師会や医療界に対する率直な意見などを執筆いただく「フレッシュマンコーナー」、女性医師による随筆「女性医師エッセイ」、会員からの一般投稿（医療・医学に関連したこと）「会員の声」を掲載した。また、「新病院長に聴く」、「新都市医師会長インタビュー」、「女性医師部会座談会」を行い、それぞれ掲載した。さらにトピックになる行事について掲載する「県医トピック」について、写真とともに掲載した。

また、約 3 年ぶりに開催された都道府県医師会広報担当理事連絡協議会に出席、本会においても郡市医師会広報担当理事協議会を開催し、情報提供を行った。

ホームページについては、会員だけでなく県民への情報発信に必須の手段となっており、今年度は一部レイアウトを変更したうえで、内容をより

わかりやすいものとし、有用な情報を掲載した。

対外広報活動として、11月に山口県総合保健会館にて県民公開講座「走快人生 はしって健康」を開催した。まず、「いのち、きずな、やさしさ」をテーマに開催したフォトコンテストの表彰式を行った。第 7 回目となった今回は全国各地から 147 作品の応募があり、写真家の下瀬信雄先生を交えて 10 月に審査会を行い表彰作品を決定し、表彰式では下瀬先生による講評をいただき、応募いただいたすべての作品を会場に展示した。また、今回は下瀬先生に「1 枚の写真、たくさんの幸せ～写真で綴る家族の歴史」と題して 30 分ご講演いただいた。その後、特別講演として、メキシコオリンピック銀メダリストの君原健二氏をお招きし、「ゴール無限」と題してご講演いただき、来場者に非常に好評であった。

「県民の健康と医療を考える会」の活動としては、12月に県民公開講座「学ぼう、自らを守ることを！」を開催し、地震・災害に対して生命・身体等を守るための対応をテーマに、防災対策に関する講演や熊本地震での活動報告、避難所等で有効なストレッチ等の実演を行った。

報道機関との関係については、報道機関の支社長クラスで組織する山口県報道懇話会との懇談会を開催し、報道関係者との親睦を深めるとともに、医療への更なる理解を求めた。また、テレビ局と協力し、ニュース番組内にて医療を取り巻く諸問題や健康情報を放送した。

② 花粉症情報提供事業（山口県委託事業）

28 年度も県内 22 測定機関にスギ・ヒノキ花粉について 1 月から 4 月末日まで毎日測定していただき、その結果を本会に連絡してもらい、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスク等に対して情報提供を行った。また、その間、本会ホームページの花粉情報コーナーも毎日更新し、最新の情報を県民に伝えるべく努力した。さらに、4 測定機関には 5 月から 12 月末日までイネ科花粉等の測定を行っていただき、飛散状況について週 1 回、ホームページに掲載した。

また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、今年度も測定機関の測定者等を対象にした花粉測定講習会を開催し、その測定精度をより向上

させた。今年度初めて、講習会のあり方についてアンケートを行い、次年度からの参考とすることとした。花粉情報委員会では、報道の取材に協力してテレビ、新聞で花粉症対策の記事の掲載、特集番組の放送の機会を増やしていくようにした。

さらに、今回で 6 回目となる県民公開講座「これでバッチリ花粉症対策」を開催した。前回同様、難聴の方も参加できるように手話通訳とスクリーン映写による要約筆記を山口県聴覚障害者情報センターの協力で同時進行で行った。シンポジウム形式で行った質疑応答では参加者から多くの質問があり、また、手話通訳及び要約筆記が有効であるとの感想があった。なお、次回以降の講演等を検討するにあたり参考とするべく、参加者にアンケートを実施した。

情報事業

例年 2 月に 2 日間に亘って開催される日本医師会医療情報システム協議会に出席した。28 年度のメインテーマは「日医 IT 化宣言 2016 さらに医療 IT 基盤をつくる」で、日医の IT 戦略セッションと事例報告セッション（日医認証局・日レセを利用した事例、地域での取り組み事例）での発表があり、活発な議論が交わされた。

また、会員のための IT 化推進として山口県医師会 IT フェアを開催し、ORCA プロジェクトの現状と今後について、及び医師資格証・医療等 ID 等について、それぞれ講演を行っていただいた。

対内広報関係

広報委員会

4 月 7 日	5 月 12 日	6 月 2 日
7 月 7 日	8 月 4 日	9 月 1 日
10 月 6 日	11 月 10 日	12 月 1 日
1 月 5 日	2 月 2 日	3 月 2 日
歳末放談会		10 月 27 日
都道府県医師会広報担当理事連絡協議会		4 月 21 日
郡市医師会広報担当理事協議会		5 月 12 日
女性医師部会座談会		1 月 23 日

対外広報関係（県医師会）

フォトコンテスト審査会	10 月 6 日
-------------	----------

同 表彰式	11 月 13 日
県民公開講座「走快人生 はしって健康」	11 月 13 日

対外広報関係

（県民の健康と医療を考える会・関係団体関連）		
世話人会		
7 月 20 日	10 月 18 日	2 月 20 日
県民公開講座「学ぼう、自らを守ることを！」		
		12 月 18 日

マスコミ関係

山口県報道懇話会との懇談会	11 月 8 日
---------------	----------

花粉情報関係

花粉情報委員会	7 月 14 日	9 月 29 日
花粉測定講習会		1 月 22 日
県民公開講座花粉症対策セミナー		1 月 22 日

医療情報システム関係

日本医師会医療情報システム協議会	
（兼 都道府県医師会医療情報システム	
担当理事連絡協議会）	2 月 11 ～ 12 日
IT フェア	2 月 25 日

6 医事法制

林専務理事 中村理事
清水理事

過去 3 年に本会が受け付けた事故報告は、25 年度が 24 件、26 年度は 23 件、27 年度が 26 件であり、28 年度は 29 件であった。27 年度までの過去 10 年間の年平均が約 26 件であることから考えて微増傾向にあることがわかる。29 件中、既に解決した案件が 5 件、経過待ちや交渉中が 24 件であるが、それ以外の案件については、複雑な内容のものが多く、既に訴訟になっている案件もあることから、新たな解決策を検討し確立していかなければならないと思われる。

医療事故防止対策の一環として平成 19 年度から行っている「医療紛争防止研修会」を 28 年度も開催した。病院に本会医事紛争担当理事と顧問弁護士が出向き、紛争防止に係わる講演を行い、また、その医療機関の医療安全担当者にも紛争防

止のための取組みに関するご講演をいただき、医師だけでなく医療従事者や事務担当者などの全スタッフを対象に、紛争防止についての再確認をしていただいた。

医療事故調査制度の対応については、対象事案の対応を図るとともに県内の支援団体（12 団体）の中核として、「山口県医療事故調査支援団体連絡協議会」等を主催し、各団体との連携強化を図った。また、郡市医師会担当理事と医療事故調査委員との合同連絡協議会を開催し、各種講演会、情報提供等を通じ体制の充実に努めた。県医師会の担当役職員については、外部研修（Ai 研究会、医療事故調査研修会等）に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

平成 28 年度

医事紛争発生件数 29 件（日医付託は 1 件）

内訳

解決 5 件 訴訟中 6 件
交渉中や経過待ち 18 件

平成 28 年

「診療情報提供推進窓口」受付件数 50 件

内訳

患者 29 件
患者家族 15 件
その他（患者の知人、内部告発等） 6 件
上記のうち、
匿名 21 件 非匿名 21 件
男性 30 件 女性 19 件
苦情 17 件 相談 28 件

医療紛争関係

1 医療事故防止対策

医療紛争防止研修会 8 月 29 日
中国四国医師会医事紛争研究会
（当県担当、岡山市にて） 11 月 6 日
都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
12 月 1 日
郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
3 月 2 日

2 紛争処理対策

医事案件調査専門委員会

（医師賠償責任保険審議会併催）

4 月 21 日 5 月 19 日 6 月 23 日
7 月 28 日 8 月 18 日 9 月 15 日
10 月 20 日 11 月 24 日 12 月 22 日
1 月 19 日 3 月 16 日
顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会
2 月 18 日

3 医療安全対策

日医医療安全推進者養成講座 4 月～3 月
日医医療安全推進者養成講習会 10 月 16 日
医療事故調査制度トップセミナー
12 月 7 日 2 月 20 日 2 月 23 日
医療対話推進者養成セミナー
9 月 15 日 10 月 28 日
医療事故調査等支援団体事務連絡協議会
11 月 29 日
医療事故調査委員合同打合せ会 11 月 17 日
郡市医師会医療事故調査担当理事協議会
11 月 17 日
Ai 研究会 11 月 17 日

4 診療情報の提供

診療情報提供推進委員会 2 月 9 日
郡市医師会診療情報担当理事協議会
3 月 2 日

薬事対策

1 麻薬対策

麻薬の適正使用・保管・管理・記帳・諸届、毒劇物の保管・管理の周知の徹底を図ったが、特に問題となる事例は発生しなかった。

2 医薬品臨床治験

より円滑な治験が行われるよう、平成 13 年度から臨床治験対策委員会を設けている。

現在、この委員会の方針に沿って県内で行われる治験を監視・関与している。具体的には、山口県のみならず県内に影響の可能性があるものも含め、実施前は製薬会社から概略や資料等の提示及び説明にて事前通知をしてもらい現状把握を継続

した。

また、治験に関しては本会ホームページを活用し会員に情報提供をしている。

治験推進地域連絡会議 2月4日

7 勤務医・女性医師

加藤常任理事 今村常任理事
中村理事 白澤理事
前川理事

勤務医

県内の勤務医を取り巻く環境は、厳しい状況にある。

新医師臨床研修制度の導入や理不尽な医療訴訟等により、地域・診療科による医師の偏在が進行し、特に 45 歳未満の医師不足は深刻であり、救急医療をはじめ地域医療は崩壊しかけている。

こうした中、勤務医部会では、平成 28 年度は、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者の活動支援、座談会、部会主催のシンポジウムなどを企画、実施した。

病院勤務医懇談会は、各病院に県医師会役員、勤務医部会役員等が出向き、勤務医の抱える問題や県内病院に定着するための課題等について協議する場として、医師会会員・非会員を問わず数少ない直接対話のできる機会として重要な機能を果たしており、28 年度も 2 箇所で開催した。

市民公開講座では、病院勤務医の過重労働の現状を理解してもらうとともに、身近なテーマにより地元住民と医療について考える場として、27 年度と同様 2 箇所で開催した。

医師事務作業補助者については、医師の負担軽減に資することから、これまでの 4 年間の取り組みを踏まえ、医師事務作業補助者連絡協議会が主体となって行う研修等の事業に対し側面的な支援をしたところである。

座談会については、新たな専門医制度の実施が平成 30 年度に延期されたが、山口県の地域医療を維持していくために、新専門医制度に関する諸課題に対して引き続き、医師会、行政、大学が一体となって取り組む必要があり、オール山口で若手医師を確保するための対策等について熱心な議論が交わされた。この座談会の内容は勤務医

ニュースの第 19 号として発刊した。

次に勤務医のネットワーク構築事業として、県内各病院の医局長のメーリングリストの作成や、勤務医部会の役員等が各地域へ出かけていき、地域の医局長等と課題について本音でトークする「なんでもトーク情報交換会」の開催を県内 2 箇所で開催した。

さらに、医学生のための短期見学研修事業は、医学生の早いうちから、山口県の病院や現場を知り、医師として働くことの意義や魅力を知ってもらうために、山口大学医学部の支援をいただき実施した。

勤務医部会シンポジウムは、勤務医をはじめ医師に関心が高い医療事故調査制度について「医療事故調査制度—医療安全のために—」をテーマに基調講演や病院の医療安全体制の現状等に関する発表等が行われた。

臨床研修への取組みとしては、平成 22 年 4 月より、山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っており、28 年度も臨床研修病院合同説明会への参加、臨床研修医交流会の開催、指導医・後期研修医等国内外研修助成事業等により、県内の若手医師の確保・育成に努めた。

以下に 28 年度事業内容を報告する。

1 勤務医対策

- (1) 勤務医部会総会、理事会、企画委員会の開催
 - ① 総 会 2月26日
 - ② 理 事 会 7月9日
 - ③ 企画委員会
6月4日 8月27日 12月3日
- (2) 病院勤務医懇談会の開催（県内 2 箇所）
 - 9月28日 東部地区
山口県立総合医療センター
 - 8月3日 西部地区 萩市民病院
- (3) 市民公開講座の開催
（県内 2 箇所：下松市、小野田市）
 - 3月26日 下松医師会
「地震災害時の医療活動について」
 - 2月5日 小野田医師会

- 「地域における救急医療の現状と課題」
- (4) 県医師会生涯研修セミナーでの
シンポジウムの開催 2月26日
- ① 基調講演
(専門医機構：共通講習単位取得可能)
「医療事故調査制度
—医療安全のために—」
- ② シンポジウム
「医療事故調査制度への対応と
各病院の医療安全体制の現状」
- (5) 医師事務作業補助者連絡協議会事業
2月4日 医師事務作業補助者研修会
- ① 事例発表「周東総合病院に
おける医師事務作業補助
業務」
- ② 特別講演「医師事務作業補
助者の役割・過去・現在・
未来」
- (6) 座談会の開催
11月20日 「新専門医制度への対応」
- (7) 勤務医のネットワーク構築（医局長連携と
して「なんでもトーク」開催、情報交換会の実施）
- 1月10日 岩国・柳井地域の医局長等
との本音のトーク
- 1月31日 宇部・小野田地域の医局長
等との本音のトーク
- (8) 医学生への啓発事業（「医学生のための短期
見学研修事業」の開催）
2月～3月 事業実施
- (9) 平成 28 年度都道府県医師会勤務医担当理事
連絡協議会
5月20日 日本医師会
- (10) 平成 28 年度全国医師会勤務医部会連絡協
議会への参加
11月26日 大阪府 「2025 年問題と勤
務医の役割」
- (11) 勤務医ニュースの発行（年 2 回）
7月 第 18 号
勤務医部会主催シンポジウム
「これでわかる新専門医制度～山口県
でとれる専門医～」
2月 第 19 号
座談会「新専門医制度への対応」

2 臨床研修医の確保対策（山口県医師臨床研修 推進センター事業）

- (1) 山口県医師臨床研修推進センター運営会議
11月10日 3月23日
- (2) 臨床研修病院合同説明会
- ① レジナビフェア 2016 大阪 7月3日
- ② e-レジフェア 2016 福岡 10月10日
- ③ レジナビフェア 2017 福岡 3月5日
- ④ レジナビフェア 2017 東京 3月19日
- (3) 臨床研修医交流会
と き 8月27日（土）～28日（日）
と ころ 山口市湯田温泉
参加者 臨床研修医 77 名
臨床研修関係者 45 名 計 122 名
- (4) 指導医・後期研修医等国内外研修助成事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院に
勤務する指導医 1 名、
後期研修医 1 名
- (5) 国内外からの指導医の招へい事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院 2 病院
- (6) 病院現地見学会助成事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院 9 病院
- (7) 臨床研修医歓迎会
と き 4月8日（金）
と ころ ANA クラウンプラザホテル宇部
参加者 研修医（1年目）79 名
臨床研修関係者 65 名 計 144 名

女性医師

男女共同参画部会では6つのワーキンググルー
プ（勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャ
リア・デザイン支援、地域連携、広報、介護支援
検討）による活動を継続した。

また、日本医師会が開催するフォーラム・協議
会等に参加し他県の取組み等の情報収集に努め
るとともに、11月5日には、本会引き受けにより
日本医師会女性医師支援センター事業中国四国ブ
ロック会議を開催した。

1 勤務医環境問題

女性医師勤務医ネットワークの更新を行った。
県内 145 病院のうち、105 病院の登録があった。

2 育児支援

平成 21 年から山口県の委託事業として専任の保育相談員を置き、女性医師からの育児に関連した相談を受け支援を続けている。同年設立した保育サポーターバンクでは引き続き登録者の募集を行うとともに、医師に対して、県医師会報、リーフレット、ポスター等において保育サポーターバンク活用の広報を行っており、3 月 31 日現在、総相談件数は 140 件、バンク登録者は 131 名である。

また、10 月に『保育サポーターバンク通信』（第 7 号）を発行し、3 月 5 日に第 8 回サポーター研修会を開催した。

3 女子医学生キャリア・デザイン支援

年々増加している女子医学生が、先輩女性医師の働く姿を見て、実際に働く現場を体験することにより、自分の将来像を描く参考にすることで、これからの医療を担う責任感を養い、医師として仕事をし続ける自覚を育てることを目的として、女子医学生インターンシップを実施した。28 年度は、43 施設 79 名の女性医師に受け入れの登録をしていただき、31 名の女子医学生が参加した。

4 地域連携の推進

現在までに県内 12 郡市医師会により 9 つの男女共同参画・女性医師部会等が設置されている。郡市間の情報交換の場として男女共同参画・女性医師部会地域連携会議を開催し、各郡市の活動報告及び意見交換を行った。

5 広報

平成 23 年に山口県医師会ホームページ内に女性医師支援のためのコーナー「やまぐち女性医師ネット (Y-JoyNet)」を作成しており、適宜更新を行った。

6 介護支援検討

平成 27 年度の総会において、日常の介護に関わる課題等について専門家を交えて意見交換を行ったことを基に、医師会としての介護支援の在

り方を検討した。

男女共同参画部会総会	3 月 5 日
男女共同参画部会理事会	5 月 22 日
	10 月 15 日 2 月 4 日
男女共同参画部会ワーキンググループ (育児支援・介護支援検討・総会)	8 月 7 日
男女共同参画・女性医師部会地域連携会議	10 月 29 日
保育サポーターバンク運営委員会	8 月 7 日
保育サポーター研修会	3 月 5 日
保育サポーター地区別ミニ集会「防府地区」	6 月 7 日
日医 (第 12 回) 男女共同参画フォーラム	7 月 30 日
日医女性医師支援センター事業中国四国 ブロック会議	11 月 5 日
日医大学医学部・医学会女性医師支援担当者 連絡会	12 月 2 日
日医女性医師支援事業連絡協議会	2 月 17 日

8 医業

沖中常任理事 船津理事
前川理事

医業経営対策

平成 28 年 12 月に閣議決定された平成 29 年度税制改正大綱においては、日本医師会は税制要望事項 17 項目のうち 12 項目を重点的に国や各方面へ要望してきた。結果、「持分あり医療法人から持分なし医療法人への移行計画の認定を受けた医療法人に対する相続・贈与税の納税猶予等の特例措置」については医療法改正を前提に、医療法人に対してみなし贈与税が課されないための要件を緩和したうえで適用期限を 3 年延長することとなった。「事業税非課税措置・軽減措置」については平成 30 年以降の検討課題とされ、平成 29 年度の税制改正では継続されることになった。「四段階制」も存続となったところである。

平成 29 年 4 月予定だった消費税の 10% 引き上げが、平成 31 年 10 月に延期された。本会では引き続き控除対象外消費税問題を喫緊の課題としてとらえ、各方面からの情報を収集しつつ、対応を検討してきた。

医師の卒後臨床研修制度の実施や病院 7 対 1 看護制度により、中小病院における医師や看護師不足問題は深刻となっており、その経営にも影響が現れてきている。これについて県医師会ではドクターバンク制度を活用して地域医療の人材確保に努めているところであるが、いまだ有効な手段となりにえていないのが現状である。自民党山口県連環境福祉部会との懇談会で、医師、看護師確保対策、小児医療対策、地域医療支援病院対策等についての説明・要望を行った。

- 1 自民党山口県連環境福祉部会との懇談会
11 月 29 日
- 2 ドクターバンクを利用した医師確保への取り組み
- 3 会員福祉対策の検討

医療廃棄物対策

平成 28 年度は、国や日本医師会がすすめる「医療機関に退蔵された水銀血圧計等の回収事業」をメインに行った。最初に会員医療機関に対して「どのくらいの水銀血圧計等を所有しているのか」、「今回の回収事業に参加するか否か」、「参加の際の排出予定量」を調べるためのアンケート調査を行った。その後、回収拠点となる郡市医師会に、回収に必要な情報及び備品を提供、10 月下旬から 11 月中旬にかけて回収作業をしていただいた。回収された水銀血圧計等は年末から年明けにかけて、無事、北海道の処分場へ届けられ処理された。今回の事業において回収窓口をつとめていただいた郡市医師会のご尽力に、深く感謝申し上げる。

このほか、国や県からの医療廃棄物取扱いに関する情報提供を行った。

- 1 水銀血圧計等の回収事業のアンケート調査
5 月～ 6 月
- 2 上記事業の情報提供及び準備
8 月～ 10 月
- 3 各郡市医師会における回収作業
10 月下旬～ 11 月中旬
(回収期間は各郡市医師会で任意設定)

医療従事者確保対策

平成 28 年度も例年同様、病院・診療所勤務

の看護職をはじめとする医療従事者に対する教育・研修の開催を支援していくための事業を行った。

毎年行っている「看護学院(校)に関する基本調査」をとりまとめ、また、各学院(校)及び運営している郡市医師会に対してのアンケート調査より、学院(校)運営の厳しい状況をうかがうことができた。この状況を学院(校)運営している郡市医師会だけの問題とせず、県下すべての医師会で問題を共有して対応していくべきと考え、「オール山口」での方針で改善に向けて取り組むこととした。また、毎年行っている本会からの各学院(校)への助成金の増額を行った。さらに、看護学院(校)の運営における課題に対応すべく、会内に「医師会立看護学校問題ワーキングチーム」を設置し、より詳細な協議検討を行った。

山口県が調査している「山口県における看護の現状」には、県内の看護職員の実態や問題等が記されているが、その中で需給推計では看護職員の受給状況は改善されていくとされている。ところが、実際の医療現場においては、看護職員の数は充足されていないという状況もみえてくる。県民に、より良い医療を提供するうえで看護職員は必要不可欠であり、本会としては現状と実態を把握するために、県内の医療機関及び老健施設を対象に需給状況調査を行うこととした。

国や行政に対しては、看護学校の校舎の耐震化や改修・建替えに対する助成や看護師等医療従事者の地域定住促進事業支援についても引き続き要望した。

また、本会主催の看護学院(校)対抗バレーボール大会を吉南医師会の引受で開催した。

- 1 郡市看護学院(校)担当理事・教務主任
合同協議会(8 郡市医師会) 6 月 2 日
- 2 郡市看護学院(校)担当理事・教務主任
合同協議会(全郡市医師会) 9 月 29 日
- 3 看護学院(校)対抗バレーボール大会
6 月 26 日
- 4 中四九地区看護学校協議会(徳島市)
8 月 20・21 日
- 5 医師会立看護学校問題ワーキングチーム
会合 1 月 5 日

- 6 看護学院（校）への助成
- 7 看護職員等研修会に対する助成
- 8 生徒募集対策（募集ポスター作成）
- 9 准看教務主任会助成
- 10 山口県実習指導者養成講習会受講者に対する助成
- 11 山口県看護教員養成講習会受講者に対する助成
- 12 山口県内の看護職員の需給状況調査

代行手数料を得た。

(2) 労働保険事務組合業務

小規模の事業主である会員から委託を受けて、労働保険料の申告、納付各種届け出等の業務を行い、山口労働局から報奨金の交付を受けた。

労務対策

医療機関が円滑な医業運営をするためには、従業員等の労務管理は必要不可欠なもので、それは県民への質の高い医療の提供にもつながる。適正な労務管理ができるように、関係当局と連携して情報提供等を行った。

平成 27 年 9 月に、医師や看護師等の医療従事者の離職防止や定着促進、医療安全の確保等を図るため、勤務環境改善に主体的に取り組む医療機関を支援する「山口県医療勤務環境改善支援センター」が開設された。これは県内の各医療機関における診療報酬制度面やマネジメント管理面だけでなく、労務管理面でのアドバイス等の支援を行うことを目的としたもので、本会も必要に応じて情報提供等の連携をした。

- 1 労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法などの普及啓発
- 2 山口県医師会ドクターバンク活用の推進
- 3 山口県医療勤務環境改善支援センターとの連携
運営協議会へ出席 2月23日

II その他事業

1 収益

実施事業を財政的に支えるために、次の事業を実施した。

(1) 保険料収納代行業務

主に会員を対象として生命保険及び損害保険の保険料の集金業務を保険会社等に代わって行うことにより、生命保険会社等から集金

III 法人事業

1 組織

林専務理事 香田理事
白澤理事

1 表彰

医学医術に対する研究による功労者表彰	1名
医事・衛生に関しての地域社会に対する功労者表彰	1名
長寿会員表彰	25名
役員・代議員・予備代議員・郡市医師会長	
通算10年以上表彰	12名

2 会員への入会促進・研修

平成28年度は役員改選の年であったことから、新体制の郡市医師会を訪問し、加入促進に取り組んだ。

新規第一号会員研修会 9月1日

3 調査研究等

本会の事業等の具体的な取組みを機動的に協議・実行していくために「医師会立看護学校問題」「地域医療構想」「地域包括ケア（在宅医療・介護連携）推進」のワーキングチームを設置した。

8月25日 1月5日

顧問・裁定委員合同会議 11月19日

定款等検討委員会 1月12日

4 郡市医師会関係

郡市医師会会長会議 10月13日 2月16日

郡市医師会との懇談会

光市（7月19日）

玖珂（7月22日）

山口市（7月29日）

下 松 (8 月 2 日)	3 月 25・26 日 (東京)
山口大学 (8 月 5 日)	中国四国医師会事務局長会議
長 門 市 (8 月 9 日)	1 月 13 日 (山口)
下 関 市 (8 月 19 日)	
熊 毛 郡 (8 月 23 日)	
吉 南 (8 月 30 日)	
郡市医師会理事会訪問	
柳 井 (9 月 9 日)	
防 府 (11 月 9 日)	
岩 国 市 (1 月 27 日)	
萩 市 (2 月 8 日)	
厚 狭 郡 (2 月 14 日)	
郡市医師会事務連絡協議会	10 月 7 日
5 日医関係	
第 137 回定例代議員会	6 月 25 日
第 138 回臨時代議員会	6 月 26 日
第 139 回臨時代議員会	3 月 26 日
日本医師会代議員会議事運営委員会	
	10 月 23 日 3 月 25 日
日本医師会財務委員会	1 月 6 日
都道府県医師会会長協議会	
	9 月 20 日 11 月 15 日 1 月 17 日
都道府県医師会事務局長連絡会	2 月 24 日
日本医師会医療政策会議	
	12 月 21 日 2 月 23 日
日本医師会母子保健検討委員会	
	10 月 26 日 1 月 26 日 3 月 29 日
日本医師会社会保険診療報酬検討委員会	
	12 月 7 日 2 月 1 日
日本医師会地域医療対策委員会	
	12 月 14 日 2 月 15 日 3 月 24 日
6 中国四国医師会連合関係	
常任委員会	5 月 8 日 (高知)
	6 月 24 日 (東京) 9 月 24 日 (山口)
	11 月 26 日 (山口) 3 月 25 日 (東京)
中国四国医師会連合総会	9 月 25 日 (山口)
中国四国医師会連合各種分科会	
	9 月 24 日 (山口)
中国四国医師会連合連絡会	
	6 月 24・25・26 日 (東京)
7 会員福祉関係	
(1) 会員親睦	
山口県医謡会	7 月 3 日
山口県医師会ゴルフ大会	10 月 16 日
山口県ドクターズテニス大会	4 月 10 日
	5 月 15 日 12 月 4 日
山口県医師会囲碁大会	2 月 26 日
(2) 弔慰 (物故会員参照)	
	規定どおり実施した。
8 新公益法人制度対策	
	決算事務等定期提出書類について顧問会計事務所と協議を行った。
9 母体保護法関係	
母体保護法指定医師審査委員会	
	5 月 6 日 2 月 9 日
	(新規指定 1 名、指定更新 42 名、 認定研修機関 1 件)
母体保護法指定医師研修会	9 月 22 日
認定研修機関 (8 施設) の定期報告	
日医家族計画・母体保護法指導者講習会	12 月 3 日
10 関係機関連携	
山口県健康福祉部との懇話会	5 月 12 日
山口県歯科医師会との懇談会	7 月 28 日
山口県看護協会との懇談会	3 月 23 日
山口県病院協会との懇談会	3 月 28 日
三師会懇談会	2 月 3 日
11 医師会共同利用施設対策	
	医師会病院、臨床検査センター及び介護関連施設等の医師会共同利用施設は、地域の健康・医療・福祉を包括した総合拠点として重要な役割を果たしている。
	しかし、施設の老朽化や民間との競合など経営

面での問題を抱えている施設もある。平成 28 年度は、愛媛県で開催された「第 20 回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会」に参加し、共通の問題点に対する対応策や運営上の情報交換を行った。

山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加及び山口県衛生検査所立入検査を行い、精度向上に貢献した。

また、「平成 28 年度日医臨床検査精度管理調査報告会」へ参加し、県外の状況把握、情報収集を行った。

第 20 回中国四国医師会共同利用施設等

- 連絡協議会への参加（愛媛県） 8 月 27 日
- 山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加
7 月 14 日 3 月 9 日
- 山口県衛生検査所立入検査 9 月 8 日
- 山口県衛生検査所精度管理研修会 3 月 5 日
- 平成 28 年度日本医師会臨床検査精度管理
調査報告会への参加 3 月 3 日

12 社会貢献

熊本地震の被災医療機関等に対する支援金、レノファ山口 FC に対する活動支援等を行った。

13 医政対策

- 自見はなこ氏県内病院訪問 4 月 25・26 日
- 河村建夫政経セミナー 6 月 4 日
- 自見はなこ街宣車県内遊説 7 月 1・8 日
- 平成 29 年度施策・予算要望
(山口県知事・自民党山口県連環境福祉部)
10 月 14 日
- 公明党山口県本部政策懇談会 11 月 20 日
- 第 16 回医療フォーラム 12 月 1 日
- 第 12 回医療関係団体新年互礼会 1 月 7 日
- 林 よしまさ新春の集い 1 月 14 日
- 公明党新春のつどい 1 月 14 日
- 河村建夫新春の集い 1 月 20 日
- 北村経夫国政報告会・新春懇話会 1 月 21 日
- ガンバレ高村正彦新春の集い 1 月 28 日
- 日医医療政策シンポジウム 2 月 8 日
- 日医医政活動研究会 2 月 25 日

14 庶務関係報告

(1) 会員数（平成 28 年 12 月 1 日現在）

	平成 28 年度	平成 27 年度	増減 (△)
第 1 号会員	1,292	1,307	△ 15
第 2 号会員	877	883	△ 6
第 3 号会員	420	420	0
計	2,589	2,610	△ 21

郡市医師会別会員数

郡市医師会	第 1 号	第 2 号	第 3 号	計
大島郡	7	22	2	31 (33)
玖珂	26	22	0	48 (51)
熊毛郡	16	4	2	22 (22)
吉南	57	40	4	101 (100)
厚狭郡	20	6	1	27 (29)
美祢郡	6	8	0	14 (14)
下関市	282	134	58	474 (479)
宇部市	191	91	31	313 (319)
山口市	113	99	25	237 (237)
萩市	44	33	2	79 (79)
徳山	130	127	15	272 (275)
防府	94	87	26	207 (203)
下松	50	22	3	75 (76)
岩国市	90	42	8	140 (140)
小野田	48	31	3	82 (79)
光市	40	44	1	85 (86)
柳井	39	39	7	85 (83)
長門市	29	24	3	56 (60)
美祢市	10	2	1	13 (13)
山口大学	0	0	228	228 (235)
計	1,292	877	420	2,589 (2,610)

() は平成 27 年度

(2) 物故会員

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに 34 名の会員がお亡くなりになりました。

(3) 代議員数

大島郡	1	宇部市	7	小野田	2
玖珂	2	山口市	5	光市	2
熊毛郡	1	萩市	2	柳井	2
吉南	2	徳山	6	長門市	2
厚狭郡	1	防府	5	美祢市	1
美祢郡	1	下松	2	山口大学	5
下関市	10	岩国市	3	計	62名

(4) 代議員会

第 177 回臨時代議員会

平成 28 年 5 月 19 日 (木) 山口県医師会館
役員選挙

1. 議長、副議長の選定の件
2. 理事候補者の選出の件
(会長候補者、副会長候補者、理事候補者)
3. 監事候補者の選出の件
4. 裁定委員候補者の選出の件
5. 日本医師会代議員・予備代議員の選出の件

会務報告

日本医師会代議員会の報告

議決事項

議案第 1 号 一般社団法人山口県医師会会費
賦課徴収規程の一部改正の件

報告事項

報告第 1 号 平成 28 年度山口県医師会事業
計画の件

報告第 2 号 平成 28 年度山口県医師会予算
の件

第 178 回定例代議員会

平成 28 年 6 月 16 日 (木) 山口県医師会館
報告事項

報告第 1 号 平成 27 年度山口県医師会事業
報告の件

議決事項

議案第 1 号 平成 27 年度山口県医師会決算
の件

議案第 2 号 山口県医師会役員 (会長、副会
長、理事、監事) 及び裁定委
員選任の件

議案第 3 号 山口県医師会役員 (会長、副会
長) 選定の件

議案第 4 号 平成 29 年度山口県医師会費賦
課徴収の件

議案第 5 号 平成 29 年度山口県医師会入会
金の件

議案第 6 号 平成 29 年度役員等の報酬の件

議案第 7 号 顧問の委嘱に関する件

(5) 理事会

4 月 7 日、4 月 21 日、5 月 12 日、5 月 26 日、
6 月 9 日、6 月 16 日、6 月 23 日、7 月 7 日、
7 月 21 日、8 月 4 日、8 月 18 日、9 月 1 日、
9 月 15 日、10 月 6 日、10 月 20 日、11 月 10 日、
11 月 24 日、12 月 8 日、12 月 22 日、1 月 5 日、
1 月 19 日、2 月 2 日、2 月 16 日、3 月 2 日、
3 月 16 日

(6) 常任理事会

4 月 28 日、5 月 19 日、6 月 16 日、8 月 25 日、
9 月 29 日、1 月 26 日、3 月 30 日

(7) 監事会

5 月 26 日に開催し、平成 27 年度の決算状況
及び業務執行状況について詳細に監査を受けた。

2 管 理

医師会運営及び会館管理に関することを行った。

かなえたい
未来がある。



応援してください。
やまぎんも、私も。

石川 佳純


